

ケーブル技術スタッフの機器チェック!

日々開発されるケーブルテレビ関連機器などを、実際に検証しながらチェック! 実用性に焦点をあてて報告します。

No. 172

ケーブルテレビの技術書

ケーブルテレビ アーキテクト 上山裕史

今号はケーブルテレビの技術書の中から特色のある書籍を紹介します。

私たちケーブルテレビ局の技術者は、プライマリIP電話やインターネットなどミッションクリティカルな双方向アプリケーションに加え、コミュニティチャンネル(コミチャン)放送のためのデジタル放送機器の安定動作に目を光らせています。今回はケーブルテレビ関係の技術書の中から特色のある書籍を紹介します。ブラックボックスとして理解したのち、機器内部を知りたいと考える技術者の要望に応える内容です。

紹介する書籍は以下です。

題名:CATVの技術 第二版

著者:倉石源三郎

発行所:電波新聞出版部

発行年:1974年第2版第1刷

表紙は資料1です。目次を資料2に示します。

内容は米国から輸入されたケーブルテレビ技術を日本で紹介する体裁をとっています。

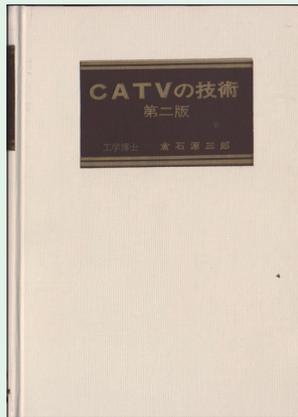
米国製品の動作原理・電気的な解析に多くのページが割かれています。現在のケーブルテレビ局で多く使用されている、HFC(光ファイバ・同軸ハイブリット形式)のシステムに使われている部品や、機器内部の理解に役立つ内容です。

例として、資料3に分配器の解析と、資料4に分配器の動作原理を記したページを示します。内容はフェライトコアを用いた分配器の動作原理です。筆

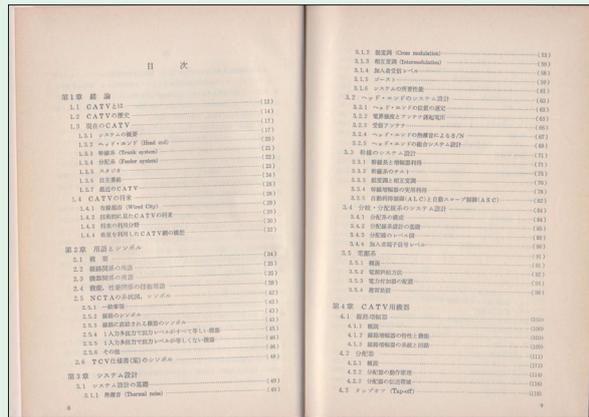
者は執筆当時、東京芝浦電気(株)電波機器事業部副技師長との肩書きになっています。したがって当時の所属メーカー製品が多く紹介されています。

現在は帯域が広範囲になるなど仕様上の差異はありますが、動作原理の理解には問題ありません。米国で生まれた技術を消化するために用語に苦心のあとが感じられます。

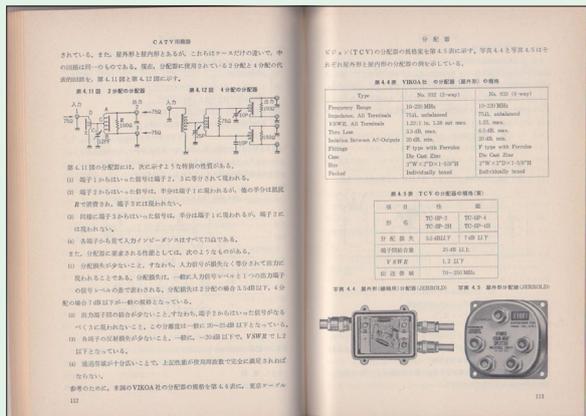
本書は廃刊になっていますが、図書館で一読されることをお勧めします。



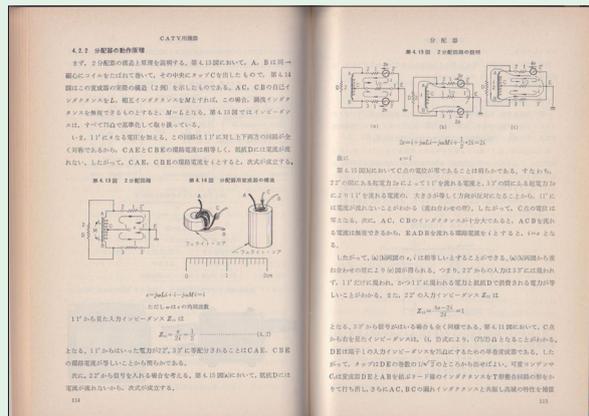
資料1:CATVの技術 表紙



資料2:CATVの技術 目次



資料3:例:分配器の解析



資料4:例:分配器の動作原理